

特定非営利活動法人

東京シューレ

2018年度(第20期)

## 活動報告書



シンガポールプロジェクトが実現 2018年12月

特定非営利活動法人東京シューレ

東京都北区岸町1-9-19コーエイビル 〒114-0021

TEL03(5993)3135 FAX03(5993)3137 E-mail : info@shure.or.jp URL : <https://www.shure.or.jp>

## もくじ

ごあいさつ 理事長 奥地圭子 -----	3
2018 年度(第 20 期) 事業報告及び決算について -----	4
■ 1. 2018 年度基本方針・重点目標をふり返える -----	4
■ 2. 事業の概要 -----	5
■ 3. フリースクール等の事業について -----	7
(1) 王子シューレ	
(2) 新宿シューレ	
(3) 流山シューレ	
(4) 大田シューレ	
(5) シューレ大学	
■ 4. ホームエデュケーションネットワーク運営事業について -----	12
■ 5. 高校コース事業について -----	12
■ 6. 公民連携事業 -----	13
■ 7. フリースクールスタッフ養成プログラム -----	14
■ 8. その他の活動について -----	14
■ 9. 団体の運営に関する報告 -----	16
■ 10. 決算に関する報告 -----	17
監査報告 -----	24
2019 年度(第 21 期) 事業の重点と基本計画 -----	26
■ 1. 重点目標と基本計画	
■ 2. 役員の体制 -----	27
■ 3. スタッフの体制 -----	28
■ 4. 委員会等の体制 -----	28

## ごあいさつ



NPO法人東京シューレ理事長 奥地圭子

1985年に設立した東京シューレは、今年、令和元年6月24日、開設35年目に入りました。はじめの15年を任意団体、2000年よりNPO法人として19年やってまいりました。小さな東十条の雑居ビルの一室から、現在では、王子・新宿・流山・大田の4カ所のスペースと、ホームシューレ・シューレ大学を運営し、日本でも代表的なフリースクールとして知られるようになりました。また、公的機関と連携して、東京シューレ葛飾中学校を12年前開校し、現在は、かつて考えられなかった北区や世田谷区と協働事業や委託事業を行っております。

このような活動ができ、長く続けられるのも、NPO法人の会員とその協力者の皆さんのおかげです。特に、シューレの成り立ちから言えば、「親立（おやりつ）」と言われたように、多くの保護者の皆さんが、NPOとしてのシューレを支えてくださって今があります。

そして、活動の方向性は、子どもの学び・育ちは多様であってこそ、子どもの学ぶ権利、成長する権利が保障できると考え、学校制度に縛られず、その子の個性やニーズを尊重し、安心して過ごせる居場所ややりたいと思う活動が実現していく場を作ることを通して、社会を変えてきたということが言えると思います。最近では、保護者の方々が熱心にブランディング活動、ファンドレイジング活動を検討くださり、さらなる活動の発展を企図いただいています。そして、何よりも、新しい時代に力を発揮するのは、子ども中心の学びや活動で育ったシューレ関係の子ども・若者であるだろうと考える時、今後の可能性は大きいと考えます。

ひきつづき、NPO法人東京シューレをよろしく願いいたします。

## 2018 年度（第 20 期）事業報告及び決算について

### ■ 1 2018 年度の基本方針・重点目標を振り返る

下記の重点目標を設定して 1 年間取り組んでまいりました。

#### 重点目標と成果

##### 〔重点目標 1〕 会員増、ニーズの高まり、スペース増や事業の拡大に対応する適正なスタッフ体制や環境づくりを行う。

- フリースクール常勤スタッフ 3 名に加え、世田谷ほっとスクール運営事業に伴い 3 名の追加採用を行いました。
- サポートスタッフを継続採用し、各スペースとも体制を厚くしました。
- 説明会や入会の動向は初等部が急増し、フリースクールへのアクセスがしやすくなっている社会状況、ニーズの変化がみられました。
- スタッフ養成プログラム（新規事業、公益財団法人石橋財団助成事業）をとおして、9 月より第 1 期インターンスタッフ 2 名を採用し養成しました。

##### 〔重点目標 2〕 普通教育機会確保法や文科省の施策に対応する取り組みを推進する

- 年度間は義務教育年齢の受け入れに重点を置き、活動・学習の充実を進めました。（フリースクール各スペースとも初等部が増加充実。一方、王子のスペースの手狭感、大田スタッフの手不足感が課題となりました。ホームシューレも小中学生が増加しました。）
- 北区政策提案協働事業、世田谷区ほっとスクール「希望丘」運営委託、流山の千葉県フリースクール等ネットワークの活動、大田の区長・副区長・教育長視察等、公民連携が進展しました。
- 会員在籍校との連携強化・担任説明会開催などの連携も定着し参加校が増えました。また国の不登校緊急点検調査においてはフリースクールによる確認が認められ安心と信頼が高まりました。
- フリースクール全国ネットワーク、実現する会等との連携も推進できた。実践研究フォーラムでは東京シューレの実践を全国に発信できました。

##### 〔重点目標 3〕 一人ひとりの多様な状況や個別性にそった学び・活動づくりを促進する

- 家庭（学校以外の学習の場[教育機会確保法]）での学びやホームエデュケーションを広げる取り組みを進めるため、ホームシューレ会員制度を変更し、正会員（旧ファミリー会員）が増えました。全国合宿参加者も多くなりました。ICT 活用の学習システム導入も定着しました。
- フリースクールではスタッフ体制の充実によって、遊び、個別学習、相談、実験、ものづくり、音楽、イラスト、サークルなどの学びと活動が深まりました。

## 重点目標と成果

### 〔重点目標 4〕 フリースクール東京シューレ大田を開設し軌道に乗せる

- 2018 年 4 月 16 日にオープンし、年度末には会員数 23 名になりました。毎月の親の会、説明会の開催、入会前の保護者との継続的なつながりなど、受け入れに注力しました。7 月 1 日にはオープニングイベント（基調講演：茂木健一郎さん、子ども・若者シンポなど）を開催し 200 名の参加を得ました。
- 大田区長・副区長・教育長視察、教育委員会相談員研修、議員や地域・NPO 市民団体との交流、店子の保育園など、関係づくりが進みました。
- スペースは小学生が多く、にぎやかで元気あふれるスペースづくりができました。多摩川花火大会など保護者企画の催しも始まりました。

### 〔重点目標 5〕 組織基盤強化、運営基盤強化の取り組みを推進する

- スタッフ体制の充実による人件費上昇、会員数の伸び悩みなど経営的な厳しさの出たスペースや部門もあり、活動費を事業収入以外で支える構造がより強まりました。
- 理事会では、運営基盤を安定化するため、フリースクール事業の会費改定の検討を開始し値上げの方針を決定しました。
- 理事会・保護者会を中心にファンドレイジングチーム、ブランディング委員会が組織され、支援者拡大や情報発信の改善に着手しました。
- 収益事業（大田ビル・保育所の賃料収入）によってフリースクール・NPO 活動を支えたり、公民連携協働（北区）や行政委託事業（世田谷区）を行うことを通してシューレ活動を推進すると同時に、それらによる団体の運営基盤の強化を図りました。また公的支援を求める運動も継続しました。
- 新宿若松スペースの継続については新宿区担当課との連絡を継続し、建物の調査が始められました。
- スタッフの働き方・待遇改善のため、就労規則整備改定、中小企業退職金共済への加入、定年後再雇用制度の整備などを進めました。

## ■ 2 事業の概要

2018 年度（第 20 期）においても、「フリースクール事業」と「ホームエデュケーションネットワーク（在宅不登校支援）事業」を基幹事業として多様な活動に取り組んできました。

### （1）会員数等の動向

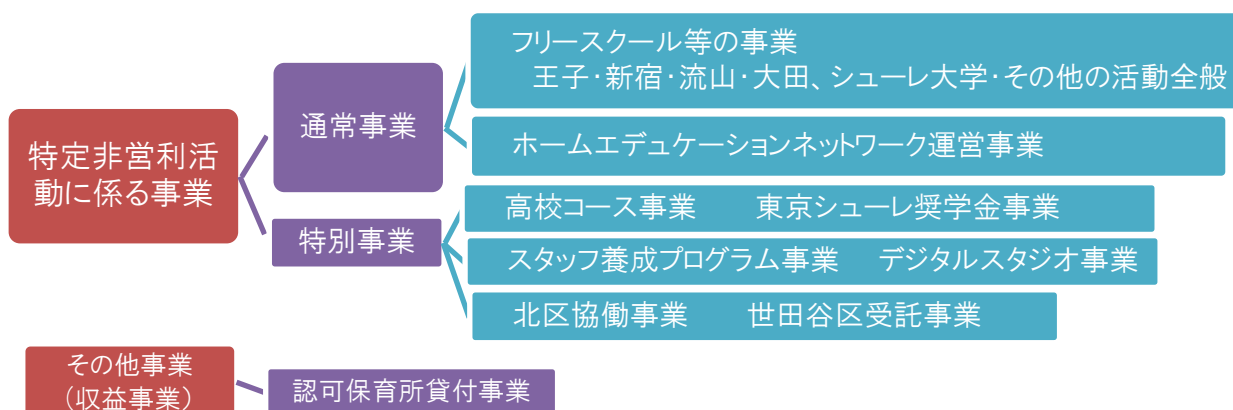
2018年度在籍者数 ( )は2017年度

	王子		新宿		流山		大田		ライフデザイン		シューレ大学		ホームシューレ		
	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	
説明会申込者数	371 (260)										14 (10)				
説明会参加者数	251 (187)										12 (8)				
入会者数	33 (25)		13 (6)		6 (7)		20 (-)		1 (0)		9 (9)		51 (39)		
在籍者数	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	
初	18 (14)	17 (14)	16 (7)	10 (5)	8 (16)	6 (14)	13 -	13 -	1 (2)	1 (2)			正会員	132 (123)	117 (104)
中	27 (24)	22 (19)	13 (14)	11 (13)	10 (3)	11 (3)	6 -	6 -			28 (31)	25 (29)	メッセージ	98 (108)	46 (97)
高	68 (62)	64 (54)	23 (28)	20 (22)	7 (7)	7 (7)	4 -	4 -							
計	113 (100)	103 (87)	52 (49)	41 (40)	25 (26)	24 (24)	23 0	23 0	1 (2)	1 (2)	28 (31)	25 (29)		230 (231)	163 (201)
	年間						年度末								
	214 (177)						192 (153)								

## (2) 東京シューレの 1 年

2018	こんなことがありました
4 月	高校コース入学式 16 日 大田シューレオープン 説明会後懇談会を継続
5 月	大田シューレでも説明会開始 スポーツ交流会(葛飾中学校) ホームシューレ東京スクーリング 不登校新聞 20 周年記念イベント
6 月	NPO 通常総会(大田シューレを会場に) 北区教育委員会と連携して親の会 & フリースペース開始 東京シューレ 33 周年祭 フリースクール全国ネットワーク総会
7 月	大田シューレ開設記念イベント(記念講演に茂木健一郎さん) シューレ大学、豊島区の依頼で豊島区若者支援プロジェクトアシスとしまにて演劇パロッドレーニング上演 新宿シューレしごと体験 フリースクールコース北海道スクーリング 合同保護者会(講師:前川喜平さん) 北区内公民連携情報交換会開催(北とびあ) 納め会 実現する会総会 超党派フリースクール等議員連盟合同総会 ペルーの働く子どもたちチャリティイベント
8 月	全国ネット大会・子ども交流 in 金沢 担任見学会 シューレ大学、東京オリンピック文化事業 TURN フェスにて映像作品上映とトークセッション(東京都美術館) 第 11 回シューレ大学国際映画祭 夏休み末の開放日
9 月	夏休み明け 子どもの命を守るキャンペーン 取材多数 フリースクールスタッフ養成プログラム第 1 期インターン 2 名スタート 王子シューレしごと体験 JDEC 日本フリースクール大会
10 月	練馬区教育支援センター講演会・経験者シンポを企画開催 保護者個別面談期間 文科省児童生徒課長視察 ホームシューレ全国合宿 シューレ大学研究イベント ハロウィンパーティ
11 月	IDEC・APDEC インド大会参加 フリースクールフェスティバル 王子隣のビルスペース借用
12 月	シンガポール旅行 クリスマス会 合同保護者会(講師:小道モコさん、テーマ分科会) シューレ大学演劇公演 超党派フリースクール等議員連盟合同総会 文科省フリースクール等検討会議・不登校調査研究協力者会議再開
1 月	新年会 ホームシューレコース北海道スクーリング スポーツ交流会 フリースクールフェスティバル音楽祭
2 月	シューレ大学絵画展、ホームシューレ掛川サロン スキー合宿、 デジタルスタジオ内装完成
3 月	北区教育委員会と協働で経験者シンポ開催(北とびあつつじホール) 新宿シューレログハウス合宿 王子シューレ活動発表会 旅立ち祭、高校コース卒業式、シューレ大活動報告会 新宿祭 超党派フリースクール等議員連盟合同総会 文科省フリースクール等検討会議・不登校調査研究協力者会議 多様な学び実践研究フォーラム in 九州 全国ネット世話人交流

### (3) 2018 年度の事業・活動全体の様子



## ■ 3 フリースクール等の事業について

4 スペースを週 5 日で開設し、6 歳（小 1）～23 歳（入会は 20 歳まで）を対象に受け入れ、初等部・中等部、高等部と高校コースを置き、子どもミーティングで活動や学習を決めていく子ども中心の学びを継続・発展させました。今期は、大田シューレ開設、全体として初等部の人数が増え、年間在籍会員 217 名（昨年度 177 名）となり、過去最多の会員数となりました。

### (1) 王子シューレ

事業費 4593 (4,176) 万円 ※ ( ) は 2017 年度

フリースクールへの社会的ニーズの高まりにともない、特に秋以降の初中等部の入会が継続的に続きました。長期プロジェクトであったシンガポールプロジェクトが 12 月に実現し、海外にて貴重な体験を得ました。会員数増加、行政連携事業やスタッフ養成プログラムによって、初中高ともスタッフ増員ができ体制を手厚くでき、日常のスペースやプログラムの中でやりたいことにすぐに取り組むことができました。かねてより課題であったスペースの手狭感の軽減と企業寄付助成によるデジタルスタジオプロジェクトの決定のタイミングがあり、11 月より隣ビルの 1 階を借りてスペースづくりを子どもたちと一緒に取り組みました。

#### ① シンガポールプロジェクトの実現

昨年度より継続していたシンガポールプロジェクトが実現し、総勢 17 名で 5 泊 6 日現地訪問をしました。現地では、シンガポール動物園、植物園見学、現地校との文化交流、アラブストリート、リトルインディアなど多文化に触れる企画などを実施しました。

#### ② 協同の学び・活動づくり

初中等部では、ものづくり、実験、外遊びなどやりたいことをすぐに形にする動きをつくったことで、個の関心から、小グループの活動に発展し、フリースクールフェスティバルでは、初中等部合同で出店をすることができました。

高等部では、哲学の講座から、日常的に子ども達が主体となり、定期的に対話をする機会が生まれました。

2018	こんなことがありました
4月	新学期スタート、各部での歓迎会、通信づくり
5月	スポーツ交流会
6月	田植え体験、33周年祭、通信づくり
7月	北海道スクーリング
8月	担任見学会、全国ネット大会・子ども交流合宿 夏の特別講座（プログラミング、写真・動画）
9月	2学期スタート、スポーツ交流会、仕事体験 通信づくり
10月	ハロウィンパーティ、稲刈り体験
11月	自然体験合宿、 フリースクールフェスティバル、通信づくり
12月	シンガポールプロジェクト クリスマス会、デジタルスタジオ・スペース検討 委員会
1月	3学期スタート、新年会
2月	スキー合宿
3月	活動発表会、フリースクール旅立ち祭 高校コース卒業式 通信づくり

音楽活動は引き続き盛んで、打楽器・リズムワークショップ（講師：元ザ・ブルーハーツの梶原徹也さんほか）、OB・OG が講師となってバンド活動が広がり、ハロウィンパーティ、クリスマス会、フリースクールフェスティバル等で発表しました。

月 1 回のプログラミング講座（講師：セールスフォース・ドットコム社によるプロボノ）、夏の特別講座「ロボットプログラミング」（講師：株式会社みらいこ）、「写真・動画講座」（講師：朝日新聞社報道写真部）など、企業協力による学びも充実しました。

### ③ 初中等部の入会増

秋以降の入会増により、女子のメンバーが増えたことによってそれまで家を中心に過ごしていたメンバーが来るようになるなど、活気がでてきました。

### ④ スペース手狭さへの取り組み デジタルスタジオ（隣施設 1 階）の活用

北区 NPO ボランティアぷらざや北とびあ音楽スタジオの活用のほかに、11 月より企業の寄付助成を活用しながら、隣施設の 1 階を借り上げデジタルスタジオづくりの準備を始めました。それによって、講座や実行委員会の場を確保することができ、また王子建物全体を子どもと一緒に考えて作るよい機会となりました。

### ⑤ ブログ広報と説明会後懇談会の継続

日常の楽しい様子が伝わるようブログ広報を頻繁に更新しました。また説明会後懇談会も継続し、見学や親の会に繋がるきっかけとして機能しました。

### ⑥ 環境整備・施設設備

隣ビルの 1 階スペースをデジタルスタジオプロジェクトと連携することによって借用でき、会員増による手狭感を解消していく目途が立ちました。また、スペースを館内照明を計画的に LED 更新することとし、3 階から改善しました。雰囲気もとても明るくなりました。

### ⑦ 課題と今後

2018 年度は、北区連携事業、世田谷区事業、スタッフ養成プログラムの活用によって新スタッフ採用もできスタッフ人数を一時的に厚くできました。個別の対応や活動が充実した一方、ミーティングや部を超えたつながり感やつながりの持ち方は課題となっています。

## （2）新宿シューレ

事業費 1614（1,408）万円

15 人の入会があり、うち 14 人が初・中等部でした。プログラムにサークルの時間が増え、みんなでやりたいことが集まってできるようになり、それぞれのやりたいこともミーティングで相談して形になる積み重ねができました。SNS を使って日常やイベントの様子を発信しました。

### ① 会員増加と初・中等部の受け入れ

入会が増え活動も広がったため、安心できる居場所をつくるため個別での対応を増やしました。スタッフ・サポートスタッフミーティングを増やし、連携を密にしました。

### ② 高等部の活動

9 月より高等部ミーティングが月に 1～2 回のペースで始まりました。話し合いたいことや普段気になっていることを出しあい、個人的な話や「ミーティング」や「自由について」「女の子が入りにくいのでは」「初等部との関わりについて」など、幅広いテーマで話し合いました。

### ③ 学び・活動の充実

- 基礎講座では、初等部は個別を中心にし、中等部は基礎講座の時間と個人の時間を持ちました。高等部は高認講座、



高校コースのレポート講座など行いました。

- 年度初めにチュートリアルでスタッフと話す時間をもちました。
- 中3年齢はといちごミーティングを行い、不安や気になっている事など出しあいました。
- スポーツは人気で卓球は毎日、フットサル、バスケット、バドミントンは定期的に、卓球大会、「逃亡中」という追いかけてこやスポーツ鬼ごっこなど企画ものも行いました。体育館などのスポーツ施設の借用に活動費を重点的に充てました。
- 新宿シューレ 23 周年祭、穴八幡祭りや新宿子どもネットワークの野外音楽祭などの地域交流、お泊り会、フリースクールフェスティバルやハロウィンパーティ、クリスマス会、餅つき、節分などの季節の行事ミーティングや実行委員会で話し合いながら行いました。
- 映像プロジェクトでは、脚本から編集まで半年以上かけてじっくり取り組み、フリースクールフェスティバルで上映しました。
- 雪の自然体験に行きたいとミーティングで話が出て、実行委員会ができ 2泊3日で行って来ました。
- 年度末に行った新宿祭では、バンド、合唱、ダンス、お笑い、脱出ゲーム実況と様々なことがいっぱい発表できるよう企画をたて開催しました。当日は、他スペースやOB・OGも手伝いに来てくれました。

2018	こんなことがありました
4月	高校コース入学式、通信作り
5月	大田シューレと交流、スポーツ交流会
6月	お泊り会、通信作り
7月	23周年祭、しごと体験、北海道スクーリング
8月	全国子ども交流合宿 in 金沢参加 担任見学会、フリースクールフェスティバル交流会
9月	穴八幡祭り、野外音楽祭、通信作り 高等部ミーティングの開始
10月	ハロウィンパーティ、野球大会
11月	フリースクールフェスティバル、通信作り
12月	クリスマス会
1月	フリースクールフェスティバル音楽祭、餅つき、通信作り、パソコン講座
2月	節分、スキー合宿
3月	雪の自然体験合宿、高校コース卒業式、旅立ち祭、新宿祭、通信作り

#### ④ 広報

Web (Facebook、Twitter、ブログ、ホームページ) で定期的に発信しました。

#### ⑤ 環境整備

本棚を手作りして増やし、みんなのおすすめコーナーを作りました。Wi-Fi 設備を拡充し子どもが日常や学習で自由に使える環境を整備しました。

#### ⑥ 課題と今後

ホームページが不調で、新たな制作が必要です。男女のバランスは、9対1と男の子が多いままでした。子どもたちで相談したり、見学に来た人に入りやすいようみんなで気にかけてくれたりしたのですが、女の子が入りやすい環境づくりは引き続き課題です。

### (3) 流山シューレ

事業費 1,326 (1,151) 万円

初石に移転して4年目、引き続き広報に力を入れ HP・ブログ等の充実を図ってきました。月1の「親の会」も定着しました。9月の「フリースクール無料開放キャンペーン」には、7組の家族の参加がありました。高校コースは、入学が1名あり計4名で増えました。千葉県フリースクール等ネットワークの中心メンバーとして活動も積極的に行い、超党派フリースクール等千葉県議員連盟の設立に寄与しました。

#### ① 会員を増やす取り組み、広報活動

HP・ブログ等の充実でアクセス数を増やすことができましたが、年間の入会者数は予想を下回りました。9月の「フリースクール無料開放キャンペーン」等や親の会によって、多くの皆さんが来訪するスペースになっています。

#### ② 何かやる日

お出かけ企画は、後半は、秋葉原や池袋を満喫する活動が特長的でした。年3回の「お泊り会」企画も盛り上がりました。自作パソコンプロジェクトは、寄付集めも行い大きな予算をかけて取り組み、パソコン作成講座など盛り上がり、完成し

たパソコンは日常のスペースで活用されています。軽音サークルもメンバーが増え活動が定着しました。近隣の手芸家と知り合いになり、手芸講座が始まり、流山シューレの看板作りにつながりました。

### ③ フリースクールフェスティバル

自営でパンを販売している保護者の協力もあり、「天然酵母のパンや」で参加。本番までに3回ほどパン試作し、当日は完売。多くの学びと達成感を得ることができました。

### ④ 課題と今後

会員数や会員のエリアをもっと広げることができると考えられ、広報活動をつくばエクスプレス（茨城）方面にも広げようと思います。また、地域とのつながりや存在感が大きくなっているので、さらに「親の会」活動を地域に定着させることが重要です。

2018	こんなことがありました
4月	おでかけ企画「清水公園」・お泊り会
5月	おでかけ企画「清水公園」 自作パソコンプロジェクト開始
6月	おでかけ企画「清水公園」「柏の葉公園」
7月	おでかけ企画「清水公園プール」 北海道スクーリング
8月	おでかけ企画「清水公園プール」
9月	おでかけ企画「秋葉原ツアー」、お泊り会 「フリースクール無料開放キャンペーン」
10月	「お泊り会」おでかけ企画「柏の葉公園」
11月	フリースクールフェスティバル、お泊り会 おでかけ企画「秋葉原ツアー」
12月	クリスマス会 おでかけ企画「柏の葉公園」
1月	おでかけ企画「池袋ツアー」、新年会
2月	おでかけ企画「秋葉原ツアー」
3月	旅立ち祭 おでかけ企画「池袋ツアー」

## (4) 大田シューレ

事業費 1857 万円

オープン1年目は会員増に力を入れ、毎月の説明会の開催や HP・ブログの充実に力を入れました。また、大田区の教育委員会、教育センター、社会福祉協議会、学校相談部会、町会や民生児童委員等との連携や、茂木健一郎さんを講師に迎えた公開イベントの開催を行いました。その結果、年度末には初等部を中心に23人の会員数となりました。

### ① ミーティングの確立・活動の土台作り

ミーティングで話し合っ場をつつていくシューレのやり方を確立してきました。なんでもタイムやゲームのルール作りなどその都度、話し合いながら進めました。

### ② オープンの周知と広報活動・説明会の開催

不登校を考える会・大田（親の会）との連携、HP・ブログの開設、区内や川崎市、横浜市へパンフレットの配布を行った。毎月1回説明会（年間9回）も行い、夏休み期間中には体験見学会を行ったところ3日間で12人の見学者があり2学期の入会につながりました。これらの結果、年度末には23人の会員数となりました。

また、大田区長、教育長、区内の教員、区議会議員、都議会議員など多くの方たちの訪問もいただきました。7月にはオープン記念イベントとして脳科学者の茂木健一郎さんを講師に招きオープン記念イベントを開催、約200人が集まり、副区長も見えられ、地域の関心も高まりました。

### ③ 入会前サポート会員活動の実施

入会にしばらく至らない家庭に対し、子どもが入会をしなくてもつながれる保護者対象の活動「入会前サポート会員」をつくりました。親とつながることで、子どもも落ち着き、入会に至る家庭もありました。

### ④ 地域・行政との連携

2018	こんな予定があります
4月	オープニングパーティ
5月	おでかけ企画「テーマパーク」 新宿シューレとの交流
6月	お化け屋敷の企画・実行
7月	オープニングイベントの開催（池上会館）、お泊り会
8月	担任見学会、夏休みオープンディの開催、大田区花火大会見物会開催、 旧大田シューレ OB・OG 会
9月	流しそうめん、おでかけ企画「羽田空港」
10月	つり、バーベキュー、ハロウィンパーティー
11月	王子シューレ自然体験合宿への参加 フリースクールフェスティバルへの参加
12月	ボーリング、クリスマス会
1月	凧作り・凧揚げ キミコ方式の実施
2月	性講座 王子シューレとの合同企画 NFH、お出かけ企画「上野動物園」
3月	おでかけ企画「江の島散策」、小屋づくり

大田区、大田区議、教育委員会、教育センターなどの行政、大田区の NPO 団体交流、地域の活動団体や地域福祉ネットワークなど、機会あるごとに大田シューレの説明を行ってきました。その結果、大田区長・副区長はじめ、教育長、SC、SSW などの訪問を受けました。また大田区学校相談部会、養護教諭など大田区内の先生方が計 100 名近く見学に来られました。入会者の半数近くが大田区在住であるのは、これらの地域とのつながりであると考えています。

### ⑤ 課題と今後

- 初等部中心の場になっており楽しい雰囲気ができている一方、中・高等部の年齢層が入りにくい面もあるため、中・高等部も楽しめる内容を増やしていきます。
- 工作やロボットなど子どもたちが興味・関心のあることへの取り組みが不十分のため、面白い学びができるようスタッフの充実やスキルアップしていきます。
- ゲームを通じて安心した居場所と人間関係づくりができる一方でゲーム以外のプログラムの充実が課題です。

## (5) シューレ大学

事業費 1,857 (1,901) 万円

東京都の若者支援団体の研究団体として認証され、都の若者支援の情報にも載るようになったり、SNS でのこまめな情報発信に努めるなどしてきました。学生数が課題となった年でしたが、前期はあまり学生が入らず、2019 年になってからようやく学生が入るようになり効果が見えてきました。

### ① 表現活動の充実

映画祭は 11 回目を迎え、第 2 期として制作した映画を上映するだけでなく、過去に制作された映画でも「生きたいように生きる」という趣旨の映画を上映するという事も加え開催し、前年を上回る参加者を得た。カンヌ映画祭最高賞受賞作『路』など上映映画も充実しました。

10 回目となった演劇公演もシェイクスピアのテンペストを翻案化し 3 回公演した。新聞の告知欄にも複数取り上げられたことから一般の来場者が多く、その中にいたシェイクスピアの専門家達の評判もよく、2 千字余の劇評を書かれるなど好評でした。夏には「パロットトレーニング」を豊島区の若者支援事業のキックオフイベントで公演する機会を頂戴し、400 人の客を前に上演しました。

独自の日本画を来場者に手に持って鑑賞してもらうスタイルで続けてきた東京国立博物館での絵画展は 6 回目となりました。会場の茶室には江戸時代の巨匠円山応挙の絵がふすまや壁に描かれており、その絵に呼応して四季を描くということ志して開催しました。例年の 1.4 倍の来場者がありました。

2018	こんなことがありました
4月	各個人、講座・プロジェクト毎に年間計画を立てる/東京都より若者支援の研究団体として認証される。
5月	ワンデイワークショップ(～6月) 海外インターン受入れ(米国・フィンランド)
6月	短期留学生受入れ(～7月まで)
7月	演劇公演「パロットトレーニング」(池袋・としまセンタースクエア)
8月	第11回シューレ大学国際映画祭/TURN フェスで映像発表と口頭発表
9月	夏合宿(五日市)
10月	研究イベント開催・シューレ大学紀要発行
11月	IDEC・APDEC インド大会参加/石巻被災地支援
12月	演劇公演「テンペスト」
1月	シューレ大学の実践について発表する(福島県・郡山市)
2月	絵画展開催(国立博物館)
3月	報告会/シューレ大学の実践について発表する(宮城県・気仙沼市)

### ② 海外交流

近年、海外のフリースクールから卒業生等が学ぶオルタナティブ大学、デモクラティック大学の先行例としてあるいは一つのモデルとして見学に来たり、「自分研究」への注目からインターンに来て研究したりというようなことが増えており、2018 年度もシューレ大学の学びや、生き方を創る実践に関心が寄せられました。

### ③ 課題と今後

海外からはオルタナティブ大学の一つのあり方として学びのあり方や進路のつくり方に関心が寄せられるようになっていくが、日本国内からの関心はなかなか高まっていません。シューレ大学の知名度が低いということを目にすることは少なくなく、シューレ大学を知りたいと思っている人にも情報が届いていない状況にあるため、それを変える必要があります。

## ■ 4 ホームエデュケーションネットワーク運営事業

事業費 1,893 (1,565) 万円

会員制度を変更し、「ファミリー会員」を「正会員」とし活動内容を充実し、「ペアレント会員」を「メッセージ会員」に(会費 3300 円) 変更しました。これにより、正会員が 28 家庭増加し活動に盛り上がりができました。

### ① 会員どうしの対面交流機会を増やす

「一日フリースクール」をサロンや合宿の開催されない月に開催し、毎月対面交流機会が持てるようにしました。毎回 20 人前後の親子が参加しました。

### ② スマホ対応の SNS の導入

スマートフォン普及に合わせ、管理権のある専用 SNS として Slack を親子別に導入しました。とくに保護者の利用が活発であり、新たな交流機会やイベントへの積極的な参加につながりました。

### ③ 学習サポートの改善

インターネット教材を導入し、個々のニーズに細かく合わせた学習サポートができるようになりました。当初予定していた 10 人を超え、2019 年 5 月現在 14 人が継続的に学んでおり、学習習慣の定着が進みました。

### ④ 保護者会員の積極的な参加が増加

Slack 導入後、保護者の参加が一層活発化しました。大津・尼崎・掛川の各地サロンの企画運営以外に、新しい自主サロンが埼玉にもできました。2019 年度の「しまなみサロン」に向けて前年度から企画が始まりました。また、フリースクールフェスティバルや合宿の夜プログラム、ランチ会やミニサロン等が主体的に運営されました。

### ⑤ 課題と今後

- **交流ニーズの変化への対応** … 近年は月刊誌上の交流ニーズが低下し、子ども若者会員は参加型イベントやインターネット上の交流へとニーズが大きく移ってきています。
- **進路支援のための「中間的支援」** … ホームシューレ正会員の平均年齢は最近 19 歳前後で安定しており、15 年前には 14 歳付近だった平均年齢が上昇したままです。昨今は不登校や在宅生活を受け入れる家庭は増えたものの、子どもが家庭で落ちついたあとで、子ども自身が進路を求めつつも行動を起こしにくい状態で悩んでいることや、在宅生活とのギャップで戸惑ったりしていることが少なくありません。いきなり進路支援を受けるよりも、その手前の「中間的支援」として、信頼できる他者との小規模な交流や、協力活動等が重要になってきています。

2018	こんなことがありました
4月	6日 HS 高校コース入学式 22日 一日フリースクール
5月	19日 一日フリースクール 26日 HS 高校コース交流会
6月	16日 大津サロン
7月	14日 ランチ会
8月	4日 夕食会(「登校拒否・不登校を考える全国大会 in 金沢」に合わせた)
9月	1日 一日フリースクール
10月	6日 HS 高校コース前期テスト 27日~28日 第20回 HS 全国合宿(三浦)
11月	23日 フリースクールフェスティバル出展
12月	1日 尼崎サロン 15日 ランチ会
1月	15日~19日 HS 高校コース本校スクーリング
2月	24日 掛川サロン
3月	2日 一日フリースクール 18日 HS 高校コース卒業式 23日 ミニサロン

## ■ 5 高校コース事業 (特別会計)

事業費 670 (1,318) 万円

2018 年度入学者 13 名、在籍者数は 64 名、年度末に 18 名が卒業しました。本校スクーリングは、フリースクールコース、ホームシューレコース共に北海道ならではの体験や講師の方々によるオリジナリティの高い教科スクーリングを実施しました。日常のレポートサポートについても、フリースクールコースでは講師や学習ボランティアの協力により個別対応も取り入れながら、進める事ができました。事業費の減少は、経理処理の変更に伴うもので活動の内容や規模に大きな変化はありません。

### ① レポートサポートへの対応

フリースクールコースでは、サポートスタッフやボランティアの協力を得て、個別対応も入れながらサポートすることが

できました。

## ② 交流を深める（本校スクーリング）

カヌーをはじめとし北海道の大自然を満喫するとともに、共同生活を通してスペースを横断した交流が盛んになりました。また、日常は自宅中心で学習活動を進めていたメンバーたちが本校スクーリングを通して知り合い、楽しく過ごす様子が多く見られました。

## ③ フリースクールやホームシューレを基盤とした学びをつくる

両コース共に、日常のフリースクールやホームシューレの活動をベースに体験活動、人間関係、スタッフとのかかわりなど広い意味での学びができました。一方、単位取得に必要な時間のみに参加する会員もおり、個々の状況を大切にしながらも、フリースクールやホームシューレが基盤であることを確認していくことも再認識されました。

## ④ 進路支援

個別での進路相談、民間の進路・進学フェアの活用などを実施しました。年間を通じた進路支援の計画や保護者と連携した取り組みなど不十分な面はありますが、大学・専門学校進学や新卒での就職などの道を進めることができました。

## ⑤ 本校との連絡・運営について

通信制高校の質の確保をめざした国の調査や方針に添って、本校や和寒町に協力し改善を図りました。

## ■ 6 公民連携事業（特別会計）

### （1）世田谷区教育支援センター ほっとスクール「希望丘」運営委託事業

事業費 586 万円

世田谷区は、教育機会確保法に基づく学校復帰を目的としない民間委託による教育支援センターをプロポーザル方式で公募し、東京シューレの受託が決まりました。9月に契約、準備期間を経て2月開設スタートし、フリースクールで培った子ども中心のプログラムや活動づくりを活かした運営が特徴です。また、地域・一般に開かれた説明会・親の会・子どもスペースを1月、3月に開催し、東京シューレのOB・OGによるシンポジウム、保護者によるシンポジウムを行って、合わせて150名の参加がありました。年度末までの2ヵ月に見学・体験通所に訪れた家庭は50家庭を超えました。区内小中学校在籍のほか区在住の私立小中学生も対象としていることが大変喜ばれています。スタッフは常勤2名がフリースクール事業から異動、常勤2名（田澤穂さん、小泉亮さん）を新規採用、スーパーバイザーとして奥地、事務局によるバックアップ、地域ボランティアの協力、地域のNPO・フリースクール等と同施設内の青少年交流センターアップスとも連携する体制をつくりました。

### （2）北区政策提案協働事業

事業費 258 万円

北区が実施する「政策提案協働事業」に応募し東京シューレから北区教育委員会へ提案する形で実現しました。「北区子どもの多様な育ちを支援する地域連携事業」として、3年間の実施がまりました。1年目は、公民連携・民間NPOどうしの連携による学習会・情報交換会（2回、のべ140名参加）、情報提供ホームページ作り、シューレOB・OGによるシンポジウム（北とぴあ232名参加）、親の会とフリースペースの開催（年間14回）、適応指導教室へのプログラム提供（絵画講座とリズムワークショップを計3回）を実施しました。学習会では、文科省から児童生徒課長を講師に招いたり、地域の子どもの団体やSSWによるシンポジウムを行い、不登校施策の変化や公民が出会い交流する機会を提供できました。

一方で、親の会やフリースペースについては、教育委員会による広報が試行錯誤で十分とは言えず参加者はのべ50名程度で周知の工夫が課題となっています。

## ■ 7 フリースクールスタッフ養成プログラム (石橋財団助成/特別会計) 事業費 175 万円

全国にフリースクールを増やしていく取り組みとして、石橋財団から助成を受け、5 年間で 10 名の日本各地で活躍するフリースクールスタッフを養成するプログラムを開始し、第 1 期奨学生 (インターンスタッフ) を公募、2 名を採用しました。東京シューレの現場に週 4 日携わりながら養成するプログラムで、第 1 期は 9 月～2019 年 8 月の期間で王子、新宿・シューレ大学の現場に入り、スタッフの体制を補う役割も担いました。また 9 月から「東京シューレ公開研修プログラム」(全 30 回) をつくり講座と訪問による研修も開始し、インターンスタッフのほか一般も対象とするスタッフ養成に取り組みました。

## ■ 8 その他の活動について

本部事業・管理費 2,733 (3,004) 万円

### (1) 保護者会/親の学び合い・相談/若者支援等の活動

- ① **フリースクール保護者会** …保護者会年 11 回開催、うち合同保護者会を 7 月 (講師: 前川喜平さん)、12 月 (講師: 小道モコさん、テーマ別分科会)。
- ② **フリースクール説明見学会** …入会希望の保護者対象に王子シューレと大田シューレで計 22 回開催。申込者 371 名、参加者 251 名
- ③ **相談電話・来訪相談** … 平日月～金 10:00～18:00 に相談電話を常設実施、来訪による相談も受付
- ④ **親ゼミ・親の会** …毎月第 2 木曜日に親ゼミを年間 11 回開講。「登校拒否を考える会」(王子)、流山親の会、大田親の会をつくり、葛飾親の会は連携して各会月 1 回開催、合同で通信を発刊。
- ⑤ **土曜サロン** …毎月第 1 土曜日 14:00～17:00 にひきこもり当事者の交流サロンを年 9 回実施

### (2) 一般対象の研修・講習会・親の会、視察、派遣等

- ① **一般見学会や視察の受け入れ** …説明見学会のほか、大学・大学院のゼミ・インターン等 (東京学芸大、早稲田大、東京成徳大学、武蔵野大学、中央大学、慶応大学、東京経済大など)、全国適応指導教室連絡協議会、韓国、東京都教育庁など
- ② **出張実施・企画実施・派遣等** … 北区政策提案協働事業 (別掲)、明治学院大学、フリースクール全国ネットワーク (総会学習会、スタッフ養成研修講座、JDEC 日本フリースクール大会、自殺予防弘前集会)、登校拒否を考える全国大会 (金沢)、練馬区教育支援センター講演・経験者シンポジウム、フリースペースつなぎ周年記念、多様な教育を考える会、日本教育支援協働学会、多様な学び実践研究交流 in 九州、IDEC・APDEC (インド)、韓国代案学校連帯、など

### (3) 東京シューレ主催等の催し

**フリースクール東京シューレ大田開設記念イベント** … 7 月 1 日、大田区教育センター、茂木健一郎さん記念講演、フリースクール現役生・OBOG シンポ、映像紹介、パーティ開催 参加者 200 名

### (4) 長期休み明け 子どもの“いのち”を守る取組

GW 明け、夏休み明けに、ホームページを通して動画メッセージ再発信と、フリースクール全国ネットワーク加盟団体と連携して「開放居場所」を実施、子ども相談電話「シューテレ」は、OB や OB・OG 保護者、スタッフ等のボランティアにより実施してきましたが、ニーズ減少により年度途中で活動を終了しました。

### (5) 会費等の減免・東京シューレ奨学基金による経済支援

- ① **入会金免除、会費・学費の減免制度** … 新たに、生活保護受給世帯を対象にフリースクール等の入会金を免除する制度を理事会で決定、家庭からの申請による会費学費の減額をあわせて 17 家庭 313 万 5,900 円の減免支援を行いました。
- ② **東京シューレ奨学基金** … 上記の減免は基金により実施しました。奨学基金は寄付金によって成り立っており、期

首残高 346 万 3,934 円、期中寄付受入れ 47 万 8,000 円、期末残高 80 万 6,034 円でした。残高が不足してきてることが課題です。

## (6) 学校法人東京シューレ学園との連携による活動

スタッフ連携会議の定期開催、子どもスポーツ交流・ママ食、行事・イベント、シューレ中での「ようこそ先輩」、合同保護者会、スタッフ合同研修、学校づくり委員会、行事広報等を相互に連携協力しました。

## (7) 普通教育機会確保法、国のフリースクール支援、学校づくり・フリースクール公教育化の活動

(朝日ライフアセットマネジメント 寄付助成)

### ① 「普通教育機会確保法」の理解促進・普及、3年以内の見直し

普通教育機会確保法施行 1 年目となり、7 月、12 月に超党派フリースクール等議員連盟と夜間中学等義務教育拡充議員連盟の合同議連が開催され、奥地がフリースクール全国ネットワーク代表理事として、各地の公民連携の進捗状況を報告し、要望書を提出。シューレ内でも毎月の説明会や前川喜平さん講演等で保護者周知を進めました。

### ② 文科省「フリースクール等に関する検討会議」

不登校に関する調査研究協力者会議と夜間中学を含めたの合同有識者会議が再開され、奥地が委員として継続参加しました。フリースクール全国ネットワーク等をとおして、フリースクールの意見を反映しました。

### ③ 学校づくり活動

東京シューレ学園と連携して学校づくり委員会を継続、小学生年齢のニーズが高まっていることから、小学校の開校の研究や調査を行いました。2019 年度に開校を目指した取り組みを、学校法人東京シューレ学園を中心に、NPO 法人も連携して具体的に進めます。

## (8) 行政・学校等との連携・協働

- ① **在籍校担任見学の開催** … 全スペースで会員在籍小中学校担任等を対象に開催し、参加校も増え好評で有意義な情報意見交換の機会となりました。
- ② **文部科学省** … 北区政策提案協働事業では確保法周知のため講師を招へいしたり、東京学芸大学を通した「学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究」などを実施しました。
- ③ **東京都教育委員会** … 1 月に担当課の視察を受けましたが、都レベルの公民連携にはまだ進展が見えません。

## (9) 出版・メディア登場

NHK E テレ「ウワサの保護者会」に取材・出演協力したほか、長期休み明けの自殺予防など、マスメディア、不登校新聞などの専門メディア等に依頼に応じて報道取材に協力しました。

## (10) 他団体との連携・協働

- ① **関係団体とのネットワーク** … 登校拒否を考える会、フリースクール全国ネットワーク、多様な学び保障法を実現する会、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、全国不登校新聞社など
- ② **IDEC・APDEC インド大会・国際交流** … IDEC・APDEC (アジア太平洋フリースクール大会) にはスタッフ 2 名をインドへ派遣、インターンスタッフやシューレ大学生も参加。韓国でシューレ大学の実践報告発表
- ③ **地域・NPO 団体・企業・財団等との連携** … 企業・財団による社会貢献や寄付助成プログラムと連携し、資金、人材、教育資材、学習体験機会などの提供をいただきました。また、活動を賛助会員として支えていただいたり、社員ボランティアとの交流なども行いました。

●ご協力いただいたり、協働した企業・財団等(敬称略・順不同) … 石橋財団、GAP Inc.、朝日ライフアセットマネジメント、日本産業パートナーズ、セールスフォース・ドットコム、ボーイング、ナイキジャパン、幸栄不動産、JK、稲栄社印刷、ほのぼの運動協議会・メディアサーカス、アレックス、東京シューレ出版、ツナガララボ、創造集団 440Hz、ありん堂、労働者クラブ保育園、ニチケアセンター、オリイ研究所、北区社会福祉協議会、日本 NPO センター・テックスープ、ハマダ基金・市民社会創造ファンド、パブリックリソース財団・

GiveOne、北区市民活動推進機構、アーツカウンシル東京

●賛助会員として支援いただいた企業（敬称略）… 大多喜ガス、東鉄工業、東京鐵骨橋梁

## ■ 9 団体の運営に関する報告

### (1) 組織

- ① **NPO 年間会員数**（ ）は昨年度年間… 会員 327 (314) 名、支援会員 63 (86) 名、賛助会員 3 (3) 法人
- ② **総会運営**… 通常総会 2018 年 6 月 9 日（土）開催
- ③ **理事会運営**… 定例理事会 11 回
- ④ **委員会運営**… 財政委員会、学校づくり委員会、給与待遇改善委員会、ファンドレイジング・チーム、ブランディング委員会、PC ネットワーク等検討委員会
- ⑤ **スタッフ体制**… 常勤スタッフに加え、年間を通じて週 3 日以上程度勤務するサポートスタッフ、非常勤スタッフ（週 1～2 日）、スタッフ養成プログラムの開始によるインターンスタッフ、ボランティアで体制をつくりました。世田谷事業開始により王子・世田谷に常勤計 4 名を新規に採用しました。
- ⑥ **定款変更と認証**… 第 5 条事業の種類、第 30 条総会の開催、第 59 条公告の方法の定款変更を決議し、平成 31 年 1 月 21 日付で第 30 条と 59 条の変更が認証されました。

### (2) 運営・経営

#### ① 2018 年度決算の概要

		(万円)		
		収益	費用	損益
特定非営利活動に係る事業	NPO 会費、寄付助成、その他	1,134	999	135
	通常事業	12,429	14,448	▲ 2,019
	特別事業	2,207	1,607	600
その他事業	認可保育所貸付事業	2,101	577	1,524
事業外		1,363	1,305	58
法人全体合計		19,233	18,935	298
法人税等			7	▲ 7

NPO 会費・寄付金等は一定規模ありましたが予算目標に及ばず、通常事業（フリースクール・大学、ホームシューレ）は、年度後半以降に入会が増え会員数は大きく伸ばしたものの年間としての会費収入は目標には届かず、一方費用は人件費を中心に予算通り執行し、▲2000 万円となりました。特別事業（高校コース、デジタルスタジオ、北区、世田谷等）、認可保育所貸付事業が、通常事業を支える形がより鮮明となりました。事業損益で赤字となったため法人所得税は出ず、また大田ビル建設による多額の消費税還付もあり、全体での損益 291 万円で収まりました。

- ② **その他収益事業（認可保育所貸付事業）**… 安定的にシューレの通常活動を支える財源となっています。計画的な環境整備、スタッフ待遇の改善などに充てたいところですが、今年度は通常事業の赤字を吸収する役割を果たしています。
- ③ **寄付・助成金の受け入れ**… 理事会・保護者会が中心となってファンドレイジングチームが精力的に取り組み、マンスリー寄付のしくみ、クレジット決済のしくみ、ブランディング作業との連動など、土台づくりが進みました。成果が見えてくるまでには及ばず、寄付金収入は目標の 37%にとどまりました。
- ④ **基本金の組み入れ**… 定款および入会金・会費規程に基づき、使途特定のない一般寄付金と NPO 入会金・年会費 545 万円を基本金に組み入れました。
- ⑤ **会費改定**… 人件費や必要な支出は年々増加してきており、28 年間据え置いてきたフリースクール会費を、理事会では改定・値上げさせていただき年間約 1000 万円の増収を目指す案をまとめ保護者会でも議論を重ねました。総会



に諮る改定案は第 4 号議案として提案します。

- ⑥ **スタッフ等の待遇改善** … 2019 年度から中退共への加入、就業規則等の整備を進めました。賃金規定の改善には着手できておらず課題ですが、暫定的・限定的な改善として子ども手当（誕生から就学年齢前まで対象）を月 3 万円に引き上げる対応をしました。また労働時間や長時間活動など働き方の改革も課題となっており、年間計画上、土日活動等の振休設定を一部明確にすることで改善しましたが、根本的な課題は引き続き対策が必要です。

⑦ **施設・設備・備品**

- **本部・王子シューレ** … パソコンの計画的な入替、3 階照明工事
- **大田シューレ** … スペース開設の備品等一式
- **新宿シューレ・シューレ大学** … 新宿 Wi-Fi 設備、大学学生用 PC の計画的な入替
- **流山シューレ** … スペースの契約更改、自作 PC
- **デジタルスタジオ** … スペース確保とデジタル機器購入（ボーイング社寄付助成）、内装工事

## ■ 10 決算に関する報告

次ページをご覧ください。

(1) 2018 年度活動計算書および事業別損益の内訳 (2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に係る事業			その他 収益事業	合 計	
	通常事業		特別事業	認可保育所 貸付事業		
	フリースクール 等の事業	ホームエデュケーション ネットワーク運営事業				
<b>I 経常収益</b>						
1. 受取会費	NPO入会金会費	4,455,000			4,455,000	
2. 寄付金	一般寄付金	996,353		628,000	1,624,353	
	特定寄付金	5,624,694	71,941		5,696,635	
3. 助成金	助成金			7,771,937	7,771,937	
4. 事業収益	入会金・会費等	94,809,940	13,041,660		107,851,600	
	施設整備費	6,006,000			6,006,000	
	講習会・補助活動事業等	7,066,856	3,370,180	197,640	10,634,676	
5. 提携事業収益				7,479,000	7,479,000	
6. 賃貸料収益				21,008,160	21,008,160	
7. 受託事業収益				5,985,000	5,985,000	
8. その他収益		5,640,678		3,800	5,644,478	
9. 基本金組入額		△ 5,451,353			△ 5,451,353	
<b>経常収益計</b>		<b>119,148,168</b>	<b>16,483,781</b>	<b>22,065,377</b>	<b>21,008,160</b>	<b>178,705,486</b>
<b>II 経常費用</b>						
1. 事業費						
(1) 人件費	給与手当(通勤手当含む)	66,101,791	9,536,220	7,006,034	1,707,390	84,351,435
	退職金掛金	1,008,000		(法定福利費含む)		1,008,000
	法定福利費	9,659,724	1,350,963		258,876	11,269,563
	福利厚生費	51,573	16,000		1,408	68,981
	<b>人件費計</b>	<b>76,821,088</b>	<b>10,903,183</b>	<b>7,006,034</b>	<b>1,967,674</b>	<b>96,697,979</b>
(2) その他経費	講師料・支払報酬等	1,769,078	284,000	370,924		2,424,002
	印刷製本費	362,600	3,563,687	442,252		4,368,539
	荷造運賃発送費	575,379	232,191	85,742		893,312
	旅費交通費	2,657,195	638,386	1,041,900	23,733	4,361,214
	通信費	895,575	20,487	129,226		1,045,288
	消耗品費・事務用品費	3,232,422	387,133	2,015,218		5,634,773
	その他活動費等	7,170,350	2,207,900	1,609,815		10,988,065
	水道光熱費	3,246,378				3,246,378
	地代家賃	19,915,590	648,000			20,563,590
	賃借料	380,524	4,320	211,559		596,403
	奨学基金充当金			3,135,900		3,135,900
	租税公課	236,407			426,560	662,967
	減価償却費・保証金償却費	7,091,966			3,347,944	10,439,910
	支払手数料	581,451	17,968	20,304		619,723
	雑費	614,645	22,600			637,245
	<b>その他経費計</b>	<b>48,729,560</b>	<b>8,026,672</b>	<b>9,062,840</b>	<b>3,798,237</b>	<b>69,617,309</b>
	<b>事業費計</b>	<b>125,550,648</b>	<b>18,929,855</b>	<b>16,068,874</b>	<b>5,765,911</b>	<b>166,315,288</b>
2. 管理費						
(1) 人件費	役員報酬	3,687,600				3,687,600
	給与手当(通勤手当含む)	767,613				767,613
	中退共	112,000				112,000
	法定福利費	194,147				194,147
	福利厚生費	1,053				1,053
	<b>人件費計</b>	<b>4,762,413</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4,762,413</b>
(2) その他経費	支払報酬	839,961				839,961
	印刷製本費	11,684				11,684
	荷造運賃発送費	26,879				26,879
	旅費交通費	38,290				38,290
	通信費	156,165				156,165
	消耗品費・事務用品費	490,219				490,219
	その他経費等	758,527				758,527
	水道光熱費	65,378				65,378
	地代家賃	1,149,990				1,149,990
	保険料	100,366				100,366
	租税公課	26,023				26,023
	減価償却費・保証金償却費	1,186,433				1,186,433
	支払手数料	299,228				299,228
	雑費	73,636				73,636
	<b>その他経費計</b>	<b>5,222,779</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5,222,779</b>
	<b>管理費計</b>	<b>9,985,192</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>9,985,192</b>
<b>経常費用計</b>		<b>135,535,840</b>	<b>18,929,855</b>	<b>16,068,874</b>	<b>5,765,911</b>	<b>176,300,480</b>
<b>当期経常損益差額</b>		<b>△ 16,387,672</b>	<b>△ 2,446,074</b>	<b>5,996,503</b>	<b>15,242,249</b>	<b>2,405,006</b>
<b>III 経常外収益</b>						
1. 奨学基金繰入収益		3,135,900		3,463,934		6,599,834
2. 特別会計繰入収益		5,584,206	1,422,126			7,006,332
3. 通常会計繰入収益				20,193		20,193
<b>経常外収益計</b>		<b>8,720,106</b>	<b>1,422,126</b>	<b>3,484,127</b>	<b>0</b>	<b>13,626,359</b>
<b>IV 経常外費用</b>						
1. 通常会計繰入額				9,480,630		9,480,630
2. 特別会計繰入額		20,193				20,193
3. 支払利息		1,106,275			2,439,480	3,545,755
4. 雑損失(予備費)			1,332			1,332
<b>経常外費用計</b>		<b>1,126,468</b>	<b>1,332</b>	<b>9,480,630</b>	<b>2,439,480</b>	<b>13,047,910</b>
<b>当期損益差額</b>		<b>△ 8,794,034</b>	<b>△ 1,025,280</b>	<b>0</b>	<b>12,802,769</b>	<b>2,983,455</b>
<b>前期繰越損益額</b>					<b>0</b>	<b>△ 126,082,734</b>
<b>法人税等</b>					<b>70,000</b>	<b>70,000</b>
<b>次期繰越損益額</b>					<b>12,732,769</b>	<b>△ 123,169,279</b>

## (2) 貸借対照表 (2019 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

科目	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	87,235,257		
立替金	4,698		
未収入金	7,141,699		
貯蔵品	146,664		
前払費用	3,941,617		
流動資産合計		<b>98,469,935</b>	
2 固定資産			
土地	91,723,840		
建物	163,234,253		
建物附属設備	39,370,832		
構築物	5,423,322		
備品	3,627,524		
電話加入権	648,000		
ソフトウェア	352,995		
保証金	11,494,000		
出資金	50,000		
固定資産合計		<b>315,924,766</b>	
3 繰延資産			
長期前払費用	195,300		
繰延資産合計		<b>195,300</b>	
資産合計			<b>414,590,001</b>
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
前受金	14,869,947		
未払金	2,348,463		
賞与引当金	4,553,196		
預り金	9,102,126		
寄付金預り金	2,474,298		
仮受金	81,467		
流動負債合計		<b>33,429,497</b>	
2 固定負債			
長期借入金	243,814,053		
預かり敷金	4,863,000		
退職給付引当金	20,917,484		
固定負債合計		<b>269,594,537</b>	
負債合計			<b>303,024,034</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
基本金		<b>234,735,246</b>	
前期繰越損益額		<b>△ 126,082,734</b>	
当期損益増減額		<b>2,913,455</b>	
正味財産合計			<b>111,565,967</b>
負債及び正味財産合計			<b>414,590,001</b>

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO会計基準協議会)によっています。ただし、使途等に制約のある寄付金収入に係る会計処理は、預り金経理方式を採用しています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法… 法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (2) 引当金の計上基準… 退職給付引当金は、スタッフの退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。
- (3) 使途等に制約のある資金の提供を受けた場合の会計処理… 資金を使用した額を寄付金収入として活動計算書に計上し、期末に次期繰越資金が生じている場合は、預り寄付金として貸借対照表に表示しています。
- (4) 施設の提供等の物的サービス及びボランティア等による役務の提供を受けた場合の会計処理… 役務提供が常勤の場合に収益及び費用として評価し、活動計算書に計上します。
- (5) 消費税等の会計処理… 消費税は税込経理によっています。
- (6) 基本金の組入… 当法人定款、入会金および会費等に関する規程、理事会決議に基づき、NPO入会金・会費、使途制約のない一般寄付金は基本金に組み入れ、収益から控除して計上しています。

### 2. 特定非営利活動における特別事業損益の内訳

(単位:円)

科目	高校コース事業	公民連携事業		フリースクール スタッフ養成・ 創設支援事業	デジタルスタジオ プロジェクト事業	東京シュール 奨学基金	ホームエデュケーショ ン地方サロン開催事 業	特別事業合計
		北区 政策提案協働事業	世田谷区 教育支援センター 運営委託事業					
<b>I 経常収益</b>								
1. 寄付金 当期受入額	150,000					478,000		628,000
2. 助成金		2,560,000		3,230,000	1,571,188		410,749	7,771,937
3. 事業収益、参加費収入				190,840			6,800	197,640
4. 受託事業収益			5,985,000					5,985,000
5. 提携事業収益	7,479,000							7,479,000
6. その他益			3,800					3,800
<b>経常収益計</b>	<b>7,629,000</b>	<b>2,560,000</b>	<b>5,988,800</b>	<b>3,420,840</b>	<b>1,571,188</b>	<b>478,000</b>	<b>417,549</b>	<b>22,065,377</b>
<b>II 経常費用</b>								
(1) 人件費 給料手当等	0	1,127,000	4,479,034	1,400,000				7,006,034
人件費計	0	1,127,000	4,479,034	1,400,000	0	0	0	7,006,034
(2) その他経費								
講師料・支払報酬等	56,000	184,880	9,000	61,044			60,000	370,924
印刷製本費	180,157	183,233	78,862					442,252
荷造運賃発送費	61,994	17,279					6,469	85,742
旅費交通費	147,706	53,444	265,140	280,000			295,610	1,041,900
通信費	61,707	18,610	48,909					129,226
消耗品費	116,600	339,580	656,850	840	889,924		11,424	2,015,218
賃借料	83,710	117,139	0				10,710	211,559
保険料							2,000	2,000
奨学基金充当金						3,135,900		3,135,900
支払手数料	5,940	3,024	4,104	6,372	864			20,304
その他活動費等	68,221	536,004	318,870	4,320	680,400			1,607,815
その他経費計	782,035	1,453,193	1,381,735	352,576	1,571,188	3,135,900	386,213	9,062,840
<b>経常経費計</b>	<b>782,035</b>	<b>2,580,193</b>	<b>5,860,769</b>	<b>1,752,576</b>	<b>1,571,188</b>	<b>3,135,900</b>	<b>386,213</b>	<b>16,068,874</b>
<b>当期経常損益額</b>	<b>6,846,965</b>	<b>△ 20,193</b>	<b>128,031</b>	<b>1,668,264</b>	<b>0</b>	<b>△ 2,657,900</b>	<b>31,336</b>	<b>5,996,503</b>
<b>III 経常外収益</b>								
1. 通常会計繰入金収益		20,193						20,193
2. 奨学基金繰入金収益						3,463,934		3,463,934
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>20,193</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,463,934</b>	<b>0</b>	<b>3,484,127</b>
<b>IV 経常外費用</b>								
1. 通常会計繰入額	6,846,965		128,031	1,668,264		806,034	31,336	9,480,630
<b>経常外費用計</b>	<b>6,846,965</b>	<b>0</b>	<b>128,031</b>	<b>1,668,264</b>	<b>0</b>	<b>806,034</b>	<b>31,336</b>	<b>9,480,630</b>
<b>当期損益額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

3. 基本金計算書 (2018年4月1日～2019年3月31日)

単位:円

事項	要組入高	組入高	未組入高
I 前期繰越高	292,515,408	229,283,893	63,231,515
II 当期組入額			
1.NPO入会金・会費収入高	4,455,000	4,455,000	
2.寄付金収入高	996,353	996,353	
3.土地購入			60,181,780
計	5,451,353	5,451,353	0
III 当期取崩額	0	0	
IV 当期末残高	297,966,761	234,735,246	63,231,515

【基本金に組み入れの対象】

1. 収益控除分(定款規定に基づくNPO入会金・会費、および用途指定のない一般寄付金)
2. 基本財産取得分(理事会決議により2016年度まで)
3. 基本財産を借入金にて取得した場合、当該借入金の返済額分(理事会決議により2016年度まで)上記、2、3の組み入れについて、理事会決議により2017年度より組み入れを行わないと変更した。

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

計上している役務はありません。

5. 用途が制約された寄付等の内訳

(単位:円)

内容	前期末寄付預り金額	当期受入額	当期減少額	当期末寄付預り金額
1. 特定寄付金				
(1)通常事業				
① フリースクール事業全般		636,726	638,726	
② フリースクール(入会時寄付)		200,000	200,000	
③ ホームエデュケーションネットワーク事業全般		71,941	71,941	
④ キャリア教育・「食と職のプログラム」活動	3,898,805	3,854,550	3,898,805	3,854,550
⑤ シューテレ活動		22,000	22,000	
⑥ 学校づくりや教育多様化を目指す活動		598,163	598,163	
⑦ 自主制作映画普及活動		87,000	87,000	
⑧ スタッフ給与手当待遇の改善		180,000	180,000	
(2)特別事業				
⑨ 東京シューレ奨学基金	3,463,934	478,000	3,135,900	806,034
⑩ 高校コース(入学時寄付)		150,000	150,000	
特定寄付金計	7,362,739	6,278,380	8,982,535	4,660,584
2. 助成金				
(1)特別事業				
⑪ FSスタッフ養成プログラム事業		3,230,000	1,561,736	1,668,264
⑫ デジタルスタジオ事業		5,576,240	1,571,188	4,005,052
助成金計	0	3,230,000	1,561,736	1,668,264

備考

- ① フリースクールの活動全般に対する、ほのぼの運動協議会からの寄付、個人等からの寄付(28件)です。
  - ② フリースクール入会時の寄付4名(4口)からの寄付です。50%を基金に繰り入れています。
  - ③ ホームシューレの活動に対する個人等からの寄付です。
  - ④ フリースクールとシューレ大学の特定活動に対するGap.Incからの寄付活動です。
  - ⑤ シューテレ活動への個人からの寄付です。
  - ⑥ 朝日ライフアセットマネジメント株式会社SRI社会貢献ファンド「あすのはね」による寄付活動です。
  - ⑦ 自主制作映画活動への個人からの寄付です。
  - ⑧ スタッフの給与待遇改善を目的とした個人(2名)からの寄付です。
  - ⑨ 前期の基金繰越、会員、保護者、個人(5名)と入会入学時寄付の50%を繰り入れています。
  - ⑩ 高校コース入学生保護者(2名)からの寄付です。内50%を基金への寄付に繰り入れています。
  - ⑪ 公益財団法人石橋財団による寄付助成活動です。
  - ⑫ ボーイング社からの寄付助成活動です。
- 上記の特定寄付金のほか、用途特定のない一般寄付金として20名、5社から996,353円の寄付がありました。

6. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	取得価額	取得	減少	前期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
基本財産						
土地						
大田区仲六郷2丁目13-13	28,572,060			28,572,060	0	28,572,060
大田区仲六郷2丁目13-16	63,151,780			63,151,780	0	63,151,780
建物						
東京シュール大田ビル	161,846,562			160,480,246	3,560,623	156,919,623
ログハウス(長野県)	24,000,000			4,748,894	1,252,800	3,496,094
建物付属設備						
東京シュール大田ビル	40,211,593			39,480,913	2,680,313	36,800,600
構築物						
"	5,847,770			5,815,121	391,799	5,423,322
備品						
" 電話機他	1,066,159			1,066,159	168,078	898,081
その他の固定資産						
建物						
新宿施設 建物改修工事	26,030,378			4,633,140	1,814,604	2,818,536
建物付属設備						
王子施設 空調設備等	2,327,625			199,820	55,331	144,489
" 玄関、ロッカー設置	1,954,800			1,422,630	195,480	1,227,150
新宿施設 玄関、自動ドア	1,029,840			194,220	46,746	147,474
" 空調設備	974,658			551,069	162,767	388,302
流山施設 パーティション工事		681,793		681,793	18,976	662,817
工具器具備品						
王子施設 ネットワーク機器	642,500			641,858	111,795	530,063
" 耐火金庫	181,749			146,916	9,087	137,829
" 給湯器	189,972			86,866	31,725	55,141
" 照明器具		239,500		239,500	12,034	227,466
" 看板		496,800		496,800	20,700	476,100
新宿施設 映写機、プロジェクター	796,700			594,313	594,311	2
流山施設 パソコン		160,000		160,000	13,333	146,667
世田谷施設 舞台		1,070,820		1,070,820	119,217	951,603
新宿施設 ネットワーク機器		206,280		206,280	1,719	204,561
その他備品	4,033,330			11	0	11
電話加入権	648,000			648,000	0	648,000
ソフトウェア						
東京シュールホームページ	487,512			479,387	126,392	352,995
保証金						
王子施設	12,744,000			11,744,000	1,000,000	10,744,000
流山施設	120,000			120,000	0	120,000
流山施設		630,000		630,000	0	630,000
出資金						
信用金庫	50,000			50,000	0	50,000
合計	376,906,988	3,485,193	0	328,312,596	12,387,830	315,924,766

7. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金				
信用金庫 土地購入	33,070,000		3,960,000	29,110,000
" 建築費用	224,699,231		9,995,178	214,704,053
合計	257,769,231	0	13,955,178	243,814,053

8. 役員及びその近親者との取引の内容 役員及びその近親者(2親等者内の親族、支配する法人)との取引

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	うち役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
I 経常収益		
寄付金	7,320,988	115,000
その他収益(雑収入)	5,640,678	1,404,526
収益計	12,961,666	1,519,526
II 経常費用		
1. 事業費		
給与手当		169,000
講師料・支払報酬等		170,160
地代家賃		480,000
修理・保守料		876,473
消耗品費・事務用品費		378,993
広告宣伝費		458,120
諸会費		108,000
租税公課		800
その他活動費		32,809
2. 管理費		
支払報酬・講師料	378,000	378,000
経費計	378,000	3,052,355
(貸借対照表)		
I 固定資産		
備品	3,627,524	366,280
資産計	3,627,524	366,280

役員との取引には、役員本人、NPO 法人フリースクール全国ネットワーク、NPO 法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、NPO 法人全国不登校新聞社、NPO 法人日本子ども NPO センター、多様な学び保障法を実現する会、株式会社創造集団 440Hz、NPO 法人ちばネモ不登校・ひきこもりネットワークとの取引があり、近親者との取引はありません。

(3) 財産目録 (2019年3月31日現在)

(単位:円)

科目		期末帳簿価額	
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金			
現金		204,330	
普通預金	三菱UFJ銀行王子支店	24,913,253	
	みずほ銀行王子支店	913,924	
	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	20,010,532	
ゆうちょ銀行	振替口座	4,713,130	
定期預金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	34,355,088	
定期積金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	2,125,000	87,235,257
未収入金			
未収会費	過年度分フリースクール事業会費	544,250	
	過年度分ホームエデュケーション事業会費	171,700	
交流プログラム代等		30,000	
2018年度子どもゆめ基金 助成金		410,749	
2018年度世田谷区委託金		5,985,000	7,141,699
貯蔵品			
書籍		146,664	146,664
立替金			
登校拒否を考える会	ゆうメール発送代等	4,698	4,698
前払費用			
家賃	王子施設4月分家賃	1,080,000	
	新宿施設4月分家賃	473,000	
	流山施設4月分家賃	135,000	
	王子施設4月分家賃	227,232	
	倉庫4月分賃料	41,040	
通勤手当等	2019年4月～9月分スタッフ通勤定期代	1,687,430	
その他	2019年度活動のための会場代等	297,915	3,941,617
流動資産合計			98,469,935
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1) 固定資産</b>			
土地	大田 仲六郷2丁目13番13(246.68㎡)	28,572,060	
	大田 仲六郷2丁目13番16(120.01㎡)	63,151,780	
建物	大田 東京シューレ大田ビル	156,919,623	
	ログハウス	3,496,094	
固定資産合計			252,139,557
<b>(2) その他の固定資産</b>			
建物	新宿施設 耐震改修工事	454,775	
	新宿施設 防水、外壁工事	2,097,941	
	新宿施設 内装工事	265,820	
建物附属設備	王子施設 空調設備等	144,490	
	王子施設 玄関、ロッカー設置工事	1,227,150	
	新宿施設 玄関、自動ドア	147,473	
	新宿施設 空調設備	388,302	
	東京シューレ大田ビル 躯体部分設備	17,091,276	
	東京シューレ大田ビル 昇降工事	8,049,527	
	東京シューレ大田ビル 3階部分設備	11,659,797	
	王子施設 パーティション工事	662,817	
構築物	大田 東京シューレ大田ビル 外構工事	5,423,322	
備品	王子施設 耐火金庫その他備品	896,549	
	王子施設 ネットワーク機器	530,063	
	東京シューレ大田ビル ネットワーク機器	359,565	
	東京シューレ大田ビル 電話機、冷蔵庫	538,516	
	新宿施設 ネットワーク機器	204,561	
	流山施設 パソコン	146,667	
	世田谷施設 舞台	951,603	
電話加入権		648,000	
ソフトウェア	東京シューレ代表ホームページ	352,995	
保証金	王子施設	10,744,000	
	流山施設	120,000	
	王子施設	630,000	
出資金	信用金庫	50,000	
長期前払費用	王子施設敷金	195,300	
その他の固定資産合計			63,980,509
固定資産合計			316,120,066
<b>資産合計</b>			<b>414,590,001</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
前受金	2019年度分フリースクール事業会費	6,634,660	
	2019年度分ホームエデュケーション事業会費	2,257,638	
	東京シューレ大田ビル 保育事業者家賃	1,750,680	
	高校コース事業入学金等	4,226,969	14,869,947
未払金	社会保険料事業所負担分	876,847	
	PC保守料等	497,340	
	王子施設 パーティション工事代	681,793	
	その他	292,483	2,348,463
賞与引当金		4,553,196	4,553,196
預り金	社会保険料等	1,242,524	
	活動プログラム寄付助成金	3,854,550	
	活動プログラム寄付助成金	4,005,052	9,102,126
特定寄付預り金	東京シューレ奨学基金	806,034	
	活動プログラム寄付助成金	1,668,264	2,474,298
	高校コース証明書代等	81,467	81,467
仮受金			
流動負債合計			33,429,497
<b>2 固定負債</b>			
長期借入金	信用金庫	29,110,000	
	信用金庫	214,704,053	
預り敷金	保育事業者	4,863,000	
退職給付引当金		20,917,484	
固定負債合計			269,594,537
<b>負債合計</b>			<b>303,024,034</b>
<b>III 正味財産</b>			<b>111,565,967</b>

## 監査報告書

特定非営利活動法人東京シューレ  
理事長 奥地圭子 殿

私は、特定非営利活動法人東京シューレ定款第22条に基づき、貴法人の第20期事業年度（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）の決算に関し、提示された帳簿書類に基づき監査したところ、決算報告書、すなわち特定非営利活動及びその他の収益活動に係る活動計算書、基本金計算書、貸借対照表並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、正規の簿記の原則に従って貴法人の財政状態並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。

以上の通り報告いたします。

令和元年 5 月 16 日

監事

安村長生





## 監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ  
理事長 奥 地 圭 子 殿

私は特定非営利活動法人東京シューレ第20期事業年度(自2018年4月1日至2019年3月31日)の会務および事業・活動は、法人の目的にそって適正に行われたものと認めます。

以上の通り報告いたします。

2019年 4 月 20 日

監 事

牧野 恵



## 2019 年度（第 21 期）事業の重点と基本計画

### ■ 1 重点目標と基本計画

#### 重点目標

〔重点目標 1〕新しい時代に、一人ひとりの多様な状況や個別性、子どもの自由にそった、子ども中心、若者中心の学び・活動づくりを推進する

- スタッフ体制の充実
- デジタルスタジオの開設（子ども中心の学びを ICT 活用、プログラミングなどで）
- いろいろタイムや子どもの実行委員会を通じた学びや活動づくり
- 家庭（学校以外の学習の場）での学びやホームエデュケーション家庭のつながりを広げる取り組み
- 子ども個人のやりたいことが実現する取組（チュートリアル、個別タイム、プログラム、進路）
- 東京シューレ公開企画（5 月）、シューレ大学 20 周年、子どもの権利条約 30 周年、不登校の子どもの権利宣言 10 周年を活かした取組

〔重点目標 2〕小学生のニーズが社会的に高まっている状況を踏まえて、初等部の受け入れ体制や活動の充実を図る

- 初等部独自の学びと活動の充実（特に人数が増えている王子、大田）
- 王子の初等部・中等部のフリースペースを広げる
- 東京シューレ学園と連携した受け入れ体制づくりの取組

〔重点目標 3〕普通教育機会確保法を活かした取組や公民連携の取組を推進する

- 法の周知や施策を推進する働きかけを継続（学校復帰ではない不登校・フリースクール支援、経済的支援の実現）
- 教育委員会・学校等との連携推進、協働事業や委託事業等の取組の継続（世田谷区ほっとスクール希望丘運営委託、北区政策提案協働事業）
- 会員在籍校との連携強化・担任説明会開催
- フリースクール全国ネットワーク、実現する会、大学等と連携し、公民連携、実践交流、法の見直しなどの推進

〔重点目標 4〕運営基盤の安定化、組織の基盤強化を推進する

- 会費改定による運営基盤の安定化
- コンプライアンス強化・子どもの権利・人権擁護の取組の推進、法人の諸規程等の整備
- 東京シューレの発信力の強化（ブランディング、広報、情報発信ツールの整備など）
- 東京シューレへの支援者の拡大、ファンドレイジング（寄付の拡大）の取組推進
- 新宿若松スペースでの事業継続確保に向けた取り組み
- スタッフ養成プログラムやボランティアを活用したフリースクール人材養成
- スタッフの働き方や待遇の改善（休暇や賃金等の待遇改善）

## ■ 2 役員体制

役職	氏名	所属および関係団体
理事長	奥地圭子	学校法人東京シューレ学園理事長、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク代表理事、登校拒否を考える会代表、全国不登校新聞社代表理事、フリースクール全国ネットワーク代表理事、多様な学び保障法を実現する会共同代表
副理事長	牧野泰美	新宿シューレ会員（高等部）、王子OG保護者
理事・事務局長	中村国生	事務局・王子シューレスタッフ、東京シューレ学園理事
理事	大橋泰之	王子シューレ会員（高等部）保護者
理事	立山剛	王子シューレ会員（中等部）保護者
理事	京藤裕子	王子シューレOB保護者、ホームシューレ会員保護者
理事	佐藤信一	王子シューレスタッフ
理事	大豆生田千夏	新宿シューレ会員（高等部）保護者
理事	西明子	新宿シューレ会員（高等部）保護者
理事	倉原香苗	新宿シューレスタッフ、(株)創造集団 440Hz 監査役
理事	池田あつ子	流山シューレOG保護者、ホームシューレ保護者
理事	帯津葉子	流山シューレスタッフ、 ネモチば不登校・ひきこもりネットワーク理事
理事	野村芳美	大田シューレスタッフ・保護者
理事	中島泉	ホームシューレ会員保護者
理事	矢嶋康平	ホームシューレスタッフ
理事	山本さゆり	シューレ大学学生父母
理事	朝倉景樹	シューレ大学スタッフ、東京シューレ学園理事、(株)創造集団 440Hz 取締役、一般社団法人フリースペースつなぎ理事
理事	木村砂織	東京シューレ学園理事・スタッフ、日本子ども NPO センター理事、全国不登校新聞社理事
監事	牧野恵	ホームシューレ会員保護者
監事	紙野愛健（新任）	公認会計士・税理士

### ■ 3 スタッフの体制 (年度当初)

(サ)=サポートスタッフ：週 30 時間以上の契約スタッフ、(非)=非常勤スタッフ：週 30 時間未満のパート契約スタッフ

- 王子シューレ・・・ 奥地圭子、佐藤信一、浅野意作、勝野有美、萩原美奈子、藤木弘人、中村国生  
赤池暁子(インターン)、島夢美(サ)、ケリーブランドン(非)、福間悠理(非)、新貝勇一(非)  
後藤史彦(非)
- 新宿シューレ・・・ 倉原香苗、松尾和俊、石垣慧  
岩崎勇氣(インターン)、福間悠理(非)、海老澤彩香(非)、小西菜月(非)、彦田来留未(非)
- 大田シューレ・・・ 奥地圭子、野村芳美、浅岡佑輔 福間悠理(非)、本田真陸(サ)
- 流山シューレ・・・ 帯津葉子、原野有理 本田真陸(サ)
- ホームシューレ・・・ 本間周子、矢嶋康平 海老澤彩香(非)
- 高校コース(札幌自由が丘学園三和高等学校)・・・  
フリースクールコース：(王子)浅野意作、(新宿)松尾和俊、(流山)帯津葉子、(大田)野村芳美  
ホームシューレコース：矢嶋康平  
教務担当：松尾和俊、浅野意作、勝野有美、本間周子
- シューレ大学・・・ 朝倉景樹、今田万美子 瀬川嘉之(非)、津田園女(非)
- 世田谷ほっとスクール「希望丘」・・・ 今井睦子、涌坂甚平、田澤穂、小泉亮、飯塚由樹、奥地圭子 足立伸子(非)
- 全体・本部・事務局・・・奥地圭子、中村国生、森美智代、勝野有美 山口幸子(非)

### ■ 4 委員会等の体制

設置委員会：NPO・学園連携会議、財政委員会、給与待遇改善委員会、ファンドレイジングチーム、ブランディング委員会、PC ネットワーク・情報セキュリティ対策委員会、子どもの人権に関する委員会 等